

平成30年度 河合のまちの夢ビジョン意見交換会 結果概要	
日時・会場	平成31年1月20日(日曜日) 午前10時00分～正午 於：豆山の郷 1階研修室
参加者	町外で働いている、おおむね40歳代までの町民の方
次第	○開会 ○町長挨拶 ○参加者紹介 ○第1部 河合町街再生総合戦略の効果検証 河合町街再生総合戦略重点施策の進捗状況説明 ～休憩～ ○第2部 意見交換会《テーマ：住みたい“まち”に》 ○副町長、教育長総括 ○閉会
意見集約結果（【 】内は意見の種類）	
【河合町のイメージ】	・河合町の住宅街に住みたいと憧れを抱いている方もいる。
【公共施設】	・町有スポーツ施設の使い勝手（使用条件）を緩和できないか。 ・一昔前まで町民グラウンドは多くの団体が活用していたと思うが、最近あまり活用しているように思われないので、他に利活用を検討すべき。
【ふるさとの日】	・馬見丘陵公園で開催されている冬のイルミネーションイベントと、ふるさとの日「冬」とのコラボも良いが、ふるさと回帰の趣旨は外してはいけない。 ・夏のふるさと祭りは知っているが、ふるさとの日「冬」はまだまだ住民に浸透していないように感じる。
【意見交換会】	・町内在住者が「住みたい」ということを考えるのは難しいので、これから河合町に住みたいと思っている方の意見を聴く場が作れた方が良いアイデアが出るのでは。
【住環境】	・大阪と比較すると空気のきれいさ、静かさ、治安の良さ、災害（例：津波の心配ほぼない）の少なさなど実感できる。 ・馬見丘陵公園と西大和保育園の評価は周りでも高い。 ・歴史的に長く人が住み続けている土地なので、大きな災害がこれまでほとんどなかったと推測できるが、本当にそういう結論に導くことができれば今後も安心して住み続けられる町として発信できる。 ・子育て世代を呼び込もうとするなら、タワーマンションのようなものを建てる。 ・まずは住む場所を作る。

【交通】	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性が高いと思っていたが、利用者の減と共に、バスや電車の本数が減っているので交通の利便性を売りにするなら対策が必要では。
【保育】	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所は19時まで見てもらえるが、小学校に上がると学童保育となり18時までしか見てもらえないので、延長料金を払うことを前提としても更なる延長をすることは子育て世代は魅力を感じる。 ・小学校も含めた保育時間に融通が利いていると、大阪などへの交通の利便性が高いから、河合町へ住みたいという共働き世帯を呼び込める。 ・こども園にも学童保育ができるスペースをつくるなど、子育て支援の中核センターにすれば大変助かる。 ・こども園に学童保育スペースが可能であれば、各小学校からこども園までの送りを豆山号で活用できないか。 ・学童保育所で例えば、地域のボランティアさんの協力を得て、英語・ピアノ・体操などの課外授業があれば魅力的。
【教育】	<ul style="list-style-type: none"> ・長く住み続けていくのであれば、小学校以降の教育のあり方は重要。 ・小学校でスポーツのクラブチームに入っている場合、中学校になると小学校からしているスポーツの部活がない場合があるし、また人数が少ないから他の中学校と合同で大会に出場している場合もあるので、中学校の部活動の充実さも子育て世代としては関心がある。 ・一中和二中で部活動の有無に違いがある。 ・全国的に知名度がある西大和学園の入学に一定の条件で河合町民枠があれば全国から子育て世代が引っ越ししてくるのでは。
【馬見丘陵公園】	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪の方からすれば、無料の駐車場があり、広大で空気がきれいな環境にある馬見丘陵公園は魅力なので、「馬見丘陵公園がある場所は河合町である」というPRや、河合町の住環境のPRブースなど置くと効果的。
【情報発信】	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE@での情報発信は良いと思うが、各イベントでも、もっと友達追加してもらえるような呼びかけをするべき。 ・河合町が良い事業をしても、住民が知らないと意味が無い。 ・住民参加型の行政を行っていくとするなら町への関心を持たすための情報発信を継続的に流していく必要がある。 ・SNSでの情報発信はツイッターも効果的。(河合町のワードで色々とヒットする可能性が広がる) ・広報紙の全体の構成が一定であると、流して読んでしまうが、イベントへの参加の体験談を掲載すると読もうと思う。 ・町の情報発信ツール(例えば広報紙)に載せて欲しいと思ってもらえるような仕組みになれば面白い。 ・住民が増えるということは、企業でいう売り上げが伸びると言うことだと思うので、営業的な視点で作ると、広報等の見方も変わる。

<p>【支援制度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河合町に住めばメリットがある支援制度。例えば、建て替えすれば補助金がでるなど。 ・イオンシネマ優待券の買い方がわからないから、利用していない人もいると思うので、例えば広報紙に買い方の流れ（システム）をデモンストレーションで詳しく載せると利用者は増えるのでは。 ・イオン西大和店で「河合町民デー」のような町民特有の割引は協力してもらえないか。
<p>【くらしのご相談センター】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パナソニックホームズと共同で、くらしのご相談センターを開設していることは知っているが、どういうところで、どういう相談を受けてもらえるか、わかりにくいので、体験談を広報紙に載せるなどの工夫をすれば安心して気軽に利用しやすくなる。
<p>【役場】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店や企業でいう店舗のようなものが役場であると思うので、役場職員が生き活きと働いていたら、この町（店）は良いなと思える。 ・一般企業でいう売り上げを上げることは行政でいうと人口を増やすことなると思うので、そういったことを意識してサービスを提供すべき。 ・基本的に暗いイメージ。
<p>【空き家】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多くなると、地域が暗いイメージになり、移住しようと思う方にとっては非常にマイナス要因で、早期の対策が必要。 ・自治体と民間で空き家対策（民間が空き家の管理出来るような仕組み） ・空き家バンクを開設し、空き家の利活用を促進。